特集
6～9面

東京YMCA国際ホテル専門学校
日本初のホテル専門学校

東京YMCA国際ホテル専門学校（東京都新宿区）は、「日本初のホテルに特化した専門学校」として1935年に創立。

以来、1万2千人を超える卒業生を輩出し、総支配人からサービススタッフといったあらゆるステージで活躍している。

1972年に開設した1年制の「ホテル専攻科」を2017年度に「ホテル旅館経営学科」としてリニューアルを図り、旅館の後継者および、経営者を養成するなど観光立国の実現に貢献する点もポイント。「この学科は、宿泊施設の後継者が集まる国内唯一の学科に位置づけられ、旅館・ホテルの後継者・経営者育成の環境強化が主な目的」と校長の小畑貴裕氏。

経営者に最も必要なこととは「旗振り」で、自身が正しいと思う決断を支配人からサービススタッフに方向性を示すことが求められる。「そのため、カリキュラムには、マネジメントを皮切りに、マーケティングやアカウンティングを基盤とし、管理理論と実践的なものに特化した講義をラインアップした」と小畑氏。

特別授業として、宿泊業界に特化したビジネススクール「宿屋大学」が主催する講座に通年、社会人に混ざり参加。日本の宿泊業界をけん引する著名なキーパーソンの講師や受講者同士のつながりも生まれ、「YMCAネットワークが最大の財産で、経営者に必要な人脈づくりにも貢献していく」と力説する。

また、2年制の「ホテル科」はおもてなしのプロを追求し、実際のホテルでのOJTで実践スキルを磨くべく、〝6カ月間のホテル実習〟で自身の可能性と選択肢を広げる。

さらに、1年次の夏期休暇にリゾートホテル実習の参加も可能で、これらの企業での実習が、即戦力となる人材の輩出につながっているという。

今年度からは従来のオープンキャンパスや体験入学に加えて、学校帰りに気軽に参加できる夕方や土曜午前中の学校説明会の新設など、学生確保にも注力し、業界が抱える慢性的な働き手不足の解消にも一役買っている。

先人たちが守ってきた歴史と伝統を引き継ぎ、次世代のリーダーとしての自信を深める場として、この学校は存在し、「次代を担う人材を輩出することがYMCAの大きな使命」と語る。

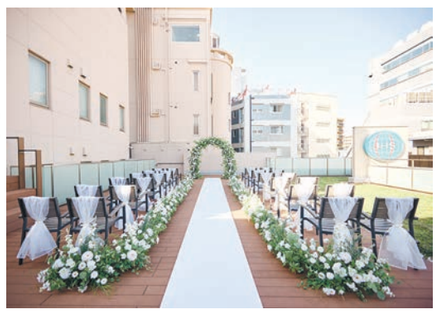
小畑校長自らが講師を務めるワーク形式授業の「SDGs理解講座」

専門学校日本ホテルスクール
礼節重んずる人間育成

今年学校設立55周年を迎える学校法人日本ホテル学院が運営する専門学校日本ホテルスクール（東京都中野区）は、日本で唯一無二のホテルが作った学校として真のホテリエを輩出している。

「礼と節を重んずる人間の育成」―理論と実技の一体化によるサービスの創造」―などが教育理念として挙げられ、約1万5千人の卒業生を輩出。今日までホテル・ブライダル・レストラン業界で幅広く活躍し、日本のサービス業の一翼を担い続けている。

今年3月の卒業生の就職状況は、日本全国のホテル・旅館などに採用され、安定の希望者就職率100%を達成。「当校のカリキュラムは、将来、ホテル・ブライダル関連業界における中堅幹部以上の人材育成を目標に、2年間を通じて授業と実技・実践の両輪で教育課程の一体化を図っている点が特徴。専門知識と技術・技能の習得を目指し、98%がホスピタリティ業界に進んだ」と同校。


新設した「風のチャペル」

開校以降、「産学連携」を軸として教育カリキュラムを組み立て、ホテル・ブライダルを中心に、企業と連携した実践教育に竣工され、ホテルフロントシステムの新規導入や拡張された演習会場で模擬披露宴を実施し、教育の充実化を実現した。

さらに、一昨年4月からは、宿泊施設におけるSNSを駆使したプロモーションが重要視されていることを背景に、「表現して伝える力」を持った次世代のホテリエの育成を目指す「ホテルSNSコミュニケーション科（昼間部）」を新設。ホテルのサービス全般に加えて、独自のカリキュラムとしてSNSのオペレーションやマーケティングを設けて、「コミュニケーションツールをホテルのマーケティングや広報に生かす力を養うことが目標」と話す。

江戸川大学
教育理念は「人間陶冶」

江戸川大学は千葉県流山市の駒木キャンパスで観光教育を行っている。流山おおたかの森駅（つくばエクスプレス・東武アーバンパークライン）から無料スクールバスで6分、徒歩だと18分の便利な場所に立地している。

同大のルーツは1931年設立の城東高等家政女学校。「教養ある堅実な女性の育成」を教育理念とし、その指針として「誠実」「明朗」「喜働（きどう）」の三つを掲げた。現在、学校法人江戸川学園は、1990年に開学した江戸川大学を母体とし、社会学部（現代社会学科、人間心理学科、経営社会学科）とメディアコミュニケーション学部（マス・コミュニケーション学科、情報文化学科、こどもコミュニケーション学科）の2学部6学科制。観光教育は社会学部現代社会学科（定員80人）が担っている。

江戸川大学外観

同学科は「観光学・地域創生ゼミナール」「テーマパーク・観光まちづくり学ゼミナール」「文化人類学ゼミナール」「民俗学ゼミナール」「環境学ゼミナール（くらしと地球環境）」「環境学ゼミナール（自然共生社会）」「スポーツ社会学ゼミナール（競技）」「スポーツ社会学ゼミナール（公共）」の10ゼミナールを10人の教員が担当している。

今年度から、「テーマパーク・観光まちづくりゼミナール」担当の大塚良治教授が学科長に就任。「ハートフル現社」を合言葉に、新体制がスタートした。

「現代社会学科はあらゆる学問分野の科目が多角的に用意され、楽しみながら学ぶことができるのが特色です。これを『講義ビュッフェ』と命名しています」

大塚学科長は「テーマパーク・観光まちづくりゼミナール」というユニークなゼミナールを担当する。「まちでのフィールドワークを通して、地域活性化に対する理解を深めています。受講生には地域活性化策を作成してもらい、行政などへの提案につなげています。ゼミナールでの学びが地域課題の解決に結びつくよう努めています」（大塚教授）。

崎本教授

観光学・地域創生ゼミナールを担当する崎本武志教授は「現代社会学科の10ゼミナールは全て『観光』というキーワードでつながっています」と話す。同教授はJTBの出身。日本国際観光学会および日本ホスピタリティ・マネジメント学会の会長、鉄旅オブザイヤーの審査委員も務めている。

「社会学部現代社会学科では、社会学を基盤にした基礎的な知識とフィールドワークの調査手法を身につけ、多様な研究領域から社会の課題解決にアプローチ。『現場で学び、問題に切り込んで常識を疑い、解決策を提示する』という一連の流れを重視しています。『文化』『観光』『環境』『スポーツ』の四つのフィールドから現代社会を捉える力を養うとともに、実際に現地を訪れて調査研究を行う『フィールドワーク』で、調査力、発見力、考察力、マネジメント力、解決力を身に付けます。3年次からは10の研究領域から興味関心にあったゼミナールを選択し、自身の研究テーマを探求していただきます」（崎本教授）。

昨年4月には新施設「フィールドワークラボ」を開設。フィールドワーク専門の常設教室として、フィールドワークの準備、研究、発表と展示を行っている。フィールドワークの成果を学生たちが相互に確認しあえる施設となっている。

各ゼミナールでの取り組みはユニークだ。

観光学ゼミナールのフィールドワークでは、JR東日本の柏駅と連携して、JRの駅を基点に周辺地域の魅力を楽しむイベント「駅からハイキング」に参画。スタッフとして参加し、当日の受付、スマホアプリの利用方法の案内なども行い、ホスピタリティを実践で学ぶ場ともなっている。

土屋薫教授は「食文化・レジャー学ゼミナール」を担当。「グローバルセルなど。観光・観光関連業界へ確実に人材を輩出している。

野上玲子准教授担当の「スポーツ社会学ゼミナール（公共）」では、サッカーやラグビーなどのプロスポーツの現場へ行き、ボランティア活動を通じてスポーツと社会とのつながりをテーマとしたフィールドワークを行っている。

文化人類学ゼミナール（川瀬由高准教授）と民俗学ゼミナール（林承緯教授）では合同で台湾に、環境学ゼミナール（奥山正樹教授）では上高地にそれぞれフィールドワークに行き、学生からも好評を博している。

同学科の2020年度から25年度の卒業生の就職先は、阪急交通社、クラブツーリズム、イオンコンパス、農協観光、オリエンタルランド、リゾートトラスト、東横イン、一般財団法人休暇村協会、グリーンホスピタリティマネジメント、東京ベイ舞浜ホテル、ケン・ホテルマネジメント日光鬼怒川、ホテル三日月、伊東園ホテルズ、秩父鉄道、東急バス、アニヴェ

観光学・地域創生ゼミでは、インバウンド観光を支える成田国際空港へ。同空港の施設や歴史を学び、国際観光・国際空港のあり方を考える機会に。
撮影協力：Narita Airport

環境学ゼミでは、国立公園研究所と連携した独自の現地実習を実施。パークレンジャーやプロガイドから直接学べる機会も。

フィールドワークで世界を知る
現代社会学科ではフィールド先からの実況中継を行います

来場型とオンライン型のハイブリッド開催
入試相談会
※高校3年生・既卒生対象
※予約が取れた時間にご参加ください
9/5（土）　9/19（土）
各日 9:00～17:00
●個別相談　●キャンパス案内
事前申込制 先着45名

学部・学科の学びやキャンパスライフの魅力がわかる多彩なメニューを体験
オープンキャンパス
※事前申込制
7/11（土）　8/1（土）　8/2（日）
8/22（土）　8/23（日）　2027年 3/20（土）
各日 午前の部 9:30～/ 午後の部 13:00～
● 大学概要説明　● 学部学科の展示コーナー　● キャンパスツアー　● 学食体験
● 個別相談コーナー（入試・就職・奨学金など）　● フィールド先からの実況中継

遠方にお住まいの方や、来場型のオープンキャンパスにご都合の合わない方は、オープンキャンパスなどで行っているプログラムを動画でご紹介する「Web オープンキャンパス」をご覧ください。
Web オープンキャンパス
オンラインでの個別相談
1分で分かる！江戸川大学の学びの魅力を先生が解説！
LINE公式アカウント友だち登録！

江戸川大学 EDOGAWA UNIVERSITY
〒270-0198 千葉県流山市駒木474
お問い合わせ先：入学課
0120-440-661　nyushi@edogawa-u.ac.jp
URL edodai.jp